

ワクチン接種の進捗・苦言・コロナが終焉したら

皆さん、こんにちは、暑くなりましたね。

いつもの年より梅雨明けが早くなり、スイカの生育も順調らしく、コロナ禍の中でもちょっとしたうれしい話題ですね。

デルタ変異株が猛威を振るって、若い世代への伝搬が困った現象になっているようです。

尾花沢では、高齢者のワクチン接種も一段落したところで、年齢の引き下げの施策が行われ、13～14歳の希望者が接種会場でも見受けられます。

ウィルスを運搬しやすい若者の悪い面での関与を減らす為にも、多くの人たちの理解と行動でコロナ禍諸々を終息に導きたいですね。



政治家のやる事、言うことを真に受けていると、腹が立って仕方ありません。

不一致が多すぎます。

いや、そのような事の連続と言っても過言では無いようです。

安心安全な状態での五輪開催も、絶対に感染を阻止して、クラスターを造らないと豪語しているにもかかわらず、隙間からの漏れよろしく感染発症がでているようです。

言葉遊びみたいに、

『完全に、…であり、安心安全な大会を実行します。』と発表し、いかにも完全な状態が行われているように思わせておいて、ワクチン不足の対応のように、醜い後付けをしているのが現実なのです。

参加選手への同情を誘って、開催の理由に置き換えてしまうというような裏技さえも平気で使用しています。

まじめな報道関係者の質問にも正面からは答えずに、はぐらかしてしまう、それが政治家の特権なのであると言わんばかりの振る舞い。

早く選挙にならないかな？と真剣に考えてしまいます。



この年末は無理としても来年の春にはワクチンも行き渡り、コロナ禍も先が見えてくるのではと思われれます。

そうなったらどうしようかな？

したいことが出るわ出るわで、大変なことになるかも知れません。

うれしい悲鳴が聞こえそうです。

そのようなことを楽しみにして…、来月もまた書きます。

お元気にお過ごし下さい。暑さに負けないように、水分を十分に摂って下さいね。